

協働のまちづくりを進めよう！

～まちにはパートナーがたくさん。一緒に活動すればもっと良くなる～

市民が将来にわたって安心して暮らすためには、生活環境・教育・健康・子育てなど、まちの機能を高めていくことが必要です。
近年、人口減少に伴い自治体の財源も減少。さらに、市民それぞれの考え方や生活スタイルが多様化するなど、環境は大きく変化しています。こうしたなか、市民のニーズに対応した公共サービスの質の向上が自治体(行政)の力だけでは困難になってきていることから、市は、市民・企業・行政が共に活動していく「協働」のまちづくりを進めています。

「協働」って何？

「協働」とはそもそもどのようなものなのでしょうか。

「協働」とは、ニーズを持った市民と企業・NPO・自治組織・行政とが連携し、成果を得ることです。共通の目的、対等な立場、それぞれの能力を持ち寄り協力し合うことで、相乗効果を得ることができま

す。
市民が理想とする地域社会を築くためには、市民・企業・行政がそれぞれの責任を果たし、相互に連携して、まちづくりを進める「協働」の仕組みを作ることが必要です。

「協働」を進めるうえでよく耳にする用語に「NPO」があります。「NPO」とは、

Non-profit-organization(民間非営利組織)の略。法人格の有無に関わらず、市民活動団体やボランティア団体など、一定のテーマを持って公益的な活動をする団体の総称です。市内では、北上市芸術文化協会や北上市国際交流協会、各地区の自治協議会などが該当します。

また、NPOのうち、NPO法(特定非営利活動促進法)により法人格を与えられた団体をNPO法人といいます。非営利とは、利益をあげないのではなく、利益を分配しないということを指します。市

内でも数多くのNPO法人が活動を行っており、市民・企業・行政と共に活動しています。



市の取り組み

市は、「協働」に取り組む筋道を明確にするため、平成13年に総合計画を策定する際に「市民が主役のまちづくり」を念頭に置きました。総合計画策定から3年

間に、講座やモデル事業を実施し、18年3月に市民参加のワークショップなどを経て、市民・企業・行政が協力してまちづくりに取り組むためのルールや手法などを明らかにした「北上市まちづくり協働推進条例」を制定しました。

県内でもいち早く「市民の参加を基本とする協働により目指すべきまちづくりを推進し進める」ことを宣言。市が管理・運営していた各地域の公民館を交流センターとし、地域の拠点とするなど、協働によるまちづくりを積極的に推進してきました。

また、25年1月にまちづくりの基本理念を定めた「自治基本条例」を施行し、同年

4月には「北上市まちづくり協働推進条例」を改正。市民一人一人が主役になって、真の豊かさを実感できる地域社会を実現するための基本的な事項と仕組みを定めました。これらの条例に基づき、協働のまちづくりを推進していきます。



18年4月に行われた鬼柳地区交流センターの開所式

実はこれも「協働」！「協働」でできたこんなこと・あんなこと

★町分マルシェ

(市民×企業×生産者×行政)

地域資源・人・店舗の魅力
を伝える活動により、農と食
を考える暮らし方や消費活
動、人とのつながりを再構築
するきっかけになっている催
し「町分マルシェ」。多種多
様な生産方法による市近郊の生
産者が集まるため、消費者は
は自分のこだわりに合った生
産者を探ることができます。
一方、生産者は、生産する立
場の思いや安全面を消費者へ



※28年度、協働により取り組んだ事業は70事業。市民の意見交換などを通じて実施された事業は27事業となりました。



毎年恒例の町分マルシェには県内から多くの人々が来場します

★ユニバーサルデザイン (UD)対応店舗の整備 (NPO×企業×行政)

説明し、消費者の反応をその場で感じることができません。また、開催場所である詩歌の森公園の使用や、駐車場の確保について市が協力しているほか、近隣の事業所がテナトなどの貸し出しに協力しました。

毎年恒例となった同マルシェの開催には、多くの皆さんが関わっています。

28年に開催された希望郷いわて大会をきっかけに、市の補助を受け、NPO法人アークセシブル北上が、障がい者対応能力の向上・環境整備を行いました。

同法人は、市内の飲食店などを対象に障がい者対応のスキルアップ講座や個別訪問などもだれでもどこへでも自由に外出できる環境を整備し、「住みやすいまち北上」実現のため、UD対応店舗の認証を受けた約30店舗を記載したきたかみ飲食店UDマップや認証ステッカーを製作し、各店舗に掲示しています。



UD対応店舗の認証ステッカー

企業貢献活動

企業では、自社の事業活動とは別に、地域の清掃活動や各種ボランティアなど、さまざまな活動を行っています。

一例として、28年に開催された希望郷いわて国体の開催前には、国立競技場の座席を630人のボランティアが取り外し、北上陸上競技場に設置しました。この座席の運搬には岩手県トラック協会北上支部の協力をいただきました。

さまざまな行事や市民の生活に多くの企業の活動が関わっています。市はこのような企業の活動に対し「企業貢献活動」という褒章制度を設けています(29年度にご協力いただいた企業一覧は広報きたかみ4月13日号8・9ページに掲載しています)。



国立競技場での座席の取り外しと運搬車両への積み込み

みんなで活動すれば、みんながハッピーに

何か課題や問題が起きたとき、一人や一団体では解決が難しいことも、市民と行政、行政と企業、市民同士などが手を取り合うことで解決できることがあります。互いに役割と責任を自覚し、相手に任せきりにせず、それぞれが得意とする能力に応じて取り組み、より良いまち、北上市を作っていきます。



※おでんせプラザぐるーぷ4階の市民活動情報センター(☎61-5035)では、市民・企業・行政が行うまちづくりに必要な情報提供やお手伝いをしています。気軽にご利用ください。

問い合わせ

地域づくり課

☎72-8300